

<横浜市議員(旭区選出) 古川なおきの市政活動報告>

第69号
2007年6月15日
- 月刊 -

古川なおきレポート

古川レポート 編集部 〒241-0825 横浜市旭区中希望が丘252-50
TEL.045-391-4000 FAX.045-366-9700 naoki@fukurukawa2002.com

横浜は吸殻ポイ捨てNGです！

「横浜市空き缶等及び吸殻等の散乱の防止に関する条例(ポイ捨て防止条例)」が一部改正しました！

皆さんお元気ですか？

相変わらず、政治家や公務員、民間企業の不祥事が絶えませんが、一人一人が他人事と思わずに、自らのこととして考えなければならないと思います。私自身も4期目となりますが、驕ることなく気を引き締めてがんばりますので、よろしく願いいたします。

さて、選挙後の初議会では「横浜市空き缶等及び吸殻等の散乱の防止に関する条例」(ポイ捨て防止条例)の一部改正が可決され、市が指定した区域では喫煙が禁止となり、違反者には2千円以下の過料を徴収することとしました。市では平成8年から「ポイ捨て防止条例」を施行し、「空き缶や吸殻等の投棄の禁止」「歩行中の喫煙を禁止する努力義務」などを規定し取り組みを進めてきました。しかし、依然としてたばこの吸殻のポイ捨てが減少しないことや歩行喫煙が数多く見受けられます。また、たばこの火による火傷や服などの焼け焦げ等の危険もあり、人通りの多い屋外の場所での喫煙の禁止を求める要望が「市民の声」として多く寄せられていることから、今回の条例改正となりました。今後、秋頃までに喫煙禁止地区を指定し条例を周知させます。過料の徴収には、美化推進員や警察OBの方にもご協力いただき対応する予定です。(なお、喫煙禁止地区は現在指定されている「美化推進重点地区」になると思われます：下記表参照)

この条例改正によりポイ捨てする人がなくなり、混雑する繁華街でも安全で快適に過ごすことができ、指定区域以外でも街に対する美化意識を高めることができると思います。朝の駅頭では、私の目の前でタバコを捨てて行かれる方が何人かいます。マイクで注意したこともありましたが、無視して通り過ぎて行かれました。そんな時は悲しくなりますが、街をきれいにするため今回の条例改正のことを皆さんのご家族や会社の方にも伝えていただければ幸いです。

<美化推進重点地区25か所>

○都心部5か所

- ①横浜駅周辺地区 ②みなとみらい21地区
- ③関内地区 ④山下・元町地区
- ⑤伊勢佐木・野毛地区

○各区20か所(平成18年11月24日4地区追加)

旭 鶴ヶ峰駅周辺地区・二俣川駅周辺地区

鶴見 鶴見駅東口地区

神奈川 東神奈川・仲木戸駅周辺地区

南 弘明寺地区

港南 上大岡・港南中央駅周辺地区

保土ヶ谷 天王町・星川駅周辺地区

磯子 磯子駅周辺地区

金沢 金沢文庫駅周辺地区

港北 新横浜地区

緑 十日市場駅周辺地区・中山駅周辺地区

青葉 あざみ野駅周辺地区

都筑 中川駅周辺地区・センター地区

戸塚 戸塚駅周辺地区・東戸塚駅周辺地区

栄 本郷台駅周辺地区

泉 いずみ中央駅周辺地区

瀬谷 瀬谷駅周辺地区

ところで、タバコに関してはポイ捨てだけではなく健康を害する受動喫煙も問題です。県も条例を検討しているようですが、公共施設はすべて完全分煙か禁煙にしたいところです。民間施設も出来る限り対応していただきたいと思います。先日もあるレストランの禁煙席で食事をしましたが、簡単な壁(板)で空間の一部が仕切られているだけでしたので、喫煙席と変わらない状況でした。以前訪問したニューヨークのレストランではすべて禁煙なので快適でした。しかしニューヨークは屋外での喫煙を認めているので、今回の条例改正は個人的にいろいろと考えさせられます。喫煙される方の中には遠慮がちに吸われる方、やめたいと思ってもやめられない方もいらっしゃると思いますが、密閉された室内での会議や食事などでは、喫煙しない人が煙を吸わないよう協力していただきたいし、各施設にも完全分煙にご協力いただきたいと思います。私のタバコに対する基本的な考えは「室内は禁煙(密閉され完全分煙できる喫煙場所で喫煙可)」「室外は喫煙(但し駅前等人の混雑する場所は避ける)」です。タバコを吸う方も吸わない方もお互いに気持よく生活できるようにしたいと思います。季節の変わり目、お身体には十分にお気をつけいただき、お元気にお過ごしください！

横浜市議員 古川なおき

皆様からいただいたご意見をご紹介します！<sup>ありがとうございました！
まだまだお待ちしています！</sup>

古川なおきレポート67号「どうすれば投票率が上がると思いますか？」の問いにお寄せいただいたご意見の一部です。

- ・誰のために選挙をするのか原点を教える必要がある。
- ・子どもたち（特に小学生）が学校で「（誰が）みんなのために働いてくれるのか」話し合いの場を設ける。子どもが家で「選挙に行かないの？」と親に言えば、「いかなきゃ！」と思う人もいるかもしれない。
- ・インターネットや携帯で投票できればいいと思います。
- ・小学生のうちから政治が自分達の生活と関わっているという意識を育てていければいいと思う。
- ・国民の政治家に対する信用がない。政治家が襟を正せ！
- ・最低投票率制を制定し、50%未満の場合は1週間後に再選挙とし、それでも未達の場合はその選挙区は全員落選とし、次の選挙まで欠員とする。
- ・市民が市政に参加できるチャンスは究極的には選挙しかないことを意識づけることが大切。選挙にいかないデメリットを強調すべき。
- ・市民に危機感を持たせ、具体的な解決策を提示すること。
- ・政治家が自分達の利益のみを考え税金の無駄使いをして国民の生活、環境に目を向けていないため、国民は政治に絶望し、投票しないのではないかと思います。
- ・小中高での楽しい政治教育！若い人の立候補・当選により、同世代の人が頑張っていると思うと応援したくなる！
- ・大切なのは選ばれた議員が住民の民意をくみ上げる努力を怠らないこと。
- ・（立候補者が）具体的な行動計画を掲げること。
- ・選挙を棄権することは有権者の権利放棄であるとともに義務違反だと思う。2回連続棄権した人にはその後10年間選挙権を与えない、又は課税するなど法改正を行う。
- ・投票場所を選べるといい（期日前の場所も増やす）。
- ・政治家が政治家らしくすること。尊敬され、世の中、人の生活を良くする人であること。政治の信頼を高める事。
- ・選挙で使われた税金をすべて開示すること。
- ・市政が形になり変化を実感できれば投票率は上がる。

☆古川なおきの活動報告☆
シンポジウムに参加しました！

★教育に映画制作を取り入れよう！

先日、ドキュメンタリー映画「マザー・テレサとその世界」で著名な千葉茂樹監督からご招待いただき、新百合丘にある日本映画学校の公開シンポジウム「シネリテラシー・映画教育の未来」に参加しました。シネリテラシーとは、映画を深く読み解き、実際の映画制作を体験する中で学習意欲を高め、考える力やコミュニケーション能力を養い豊かな人間性を教育することです。

当日のシンポジウムの中で上映された千葉監督の新作ドキュメンタリー映画「映画をつくる子どもたち・オーストラリアの挑戦」では、オーストラリアの児童や生徒が実際に映画を制作する過程と完成した映画の上映会までの様子がよくわかりました。映画製作には半年近くかけ、出演者だけではなく、脚本から監督、カメラ、編集まで、児童・生徒一人一人がそれぞれの役割をこなします。映画教育を新しい科目とするのではなく、脚本は国語の時間、小道具は美術の時間を利用する等して時間割を工夫します。指導する教師も映画制作は初めてのため最初は戸惑いながらも熱心に勉強し子ども達に指導している様子が印象的でした。

オーストラリアは200以上の国と地域から様々な民族が集まって成り立っているのので、国や文化の違う子どもたちには、言葉の違いやいじめをはじめ深刻な問題があります。そこで、このように映画教育を通じて、無気力だった子どもが学習意欲を高めたり、文化の違いを認め合う心を育むことを目的として映画制作を教育へ導入して成功しています。現在は小・中・高約2200校の内600校で実施されています。

日本での映画教育の実例としては「KAWASAKIしんゆり映画祭」の中でジュニア映画ワークショップがあり、中学生を中心に毎年約20人が参加し、日本映画学校の講師らの指導の下、夏休みを中心に製作に取り組んでいます。映画制作はテーマを決めることからスタートするので、数年前はいじめをテーマとして、いじめる側といじめられる側のそれぞれの立場で考えることができたり、ダウン症の子どもと一緒に制作した中学生は、それぞれが映画制作のなかでどのような役割を担うかを自分たちで考えることで成長していく実例が、シンポジウムで報告されました。学校教育の閉塞感を打ち破るためにも横浜市でも映画制作を学校教育に取り入れることを検討していきたいと思えます。（古川事務所に資料がありますので関心のある方はメールでご連絡ください。jimu@furukawa2002.com）横浜市議員 古川なおき



▲インターン生として活躍してくれた東京理科大学の前川君。飛行機を使わないで3年間世界一周の旅に出発しました。まずは自宅から神戸まで歩いていき、船で上海に向かいます。世界各国で様々な経験をするでしょう。無事を祈ります。（写真は出発の日）

古川なおきプロフィール

昭和43年8月31日横浜市生まれ 38才
 県立希望ヶ丘高校・明治大学卒業
 横浜銀行勤務後、議員秘書となる
 平成7年横浜市議員初当選(26才)
 平成19年4月4期目当選
 平成19年道路・安全管理委員会委員長
 同 青少年市民スポーツ 特別委員会
 自民党横浜市支部連合会青年局長
 日本動物福祉協会横浜支部支部長
 鶴ヶ峰商店街協同組合顧問
 希望ヶ丘高校同窓会桜蔭会評議員
 旭区スポーツダンス協会顧問
 旭区サッカー協会顧問
 学校法人 八洲学園 理事
 NPO法人スクール・エイト・ジャパン理事
 卓球本間クラブ所属
 横浜青年会議所(JC)
 明治大学公共政策大学院在学中